

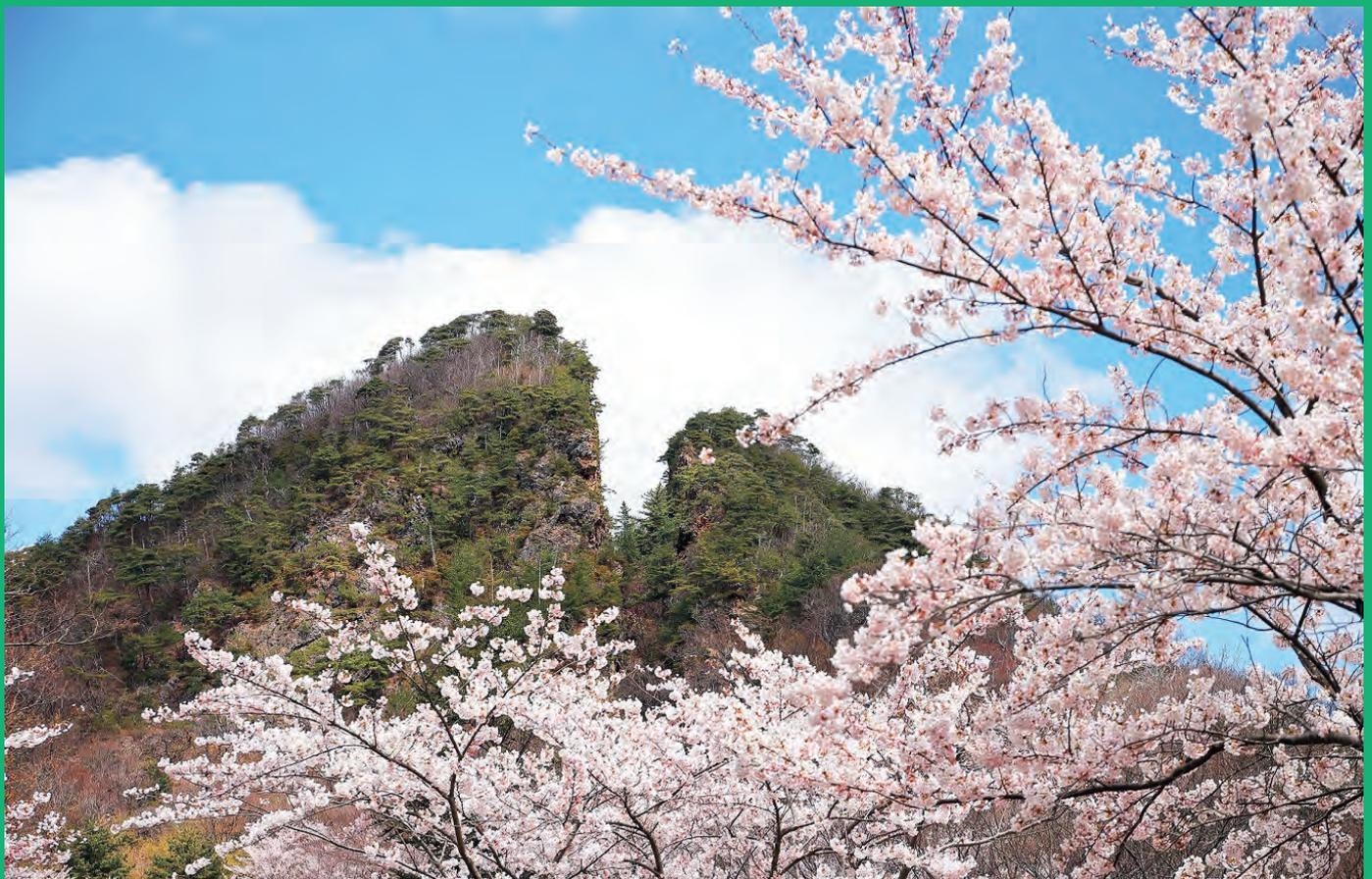
北関東 防衛局 広報

2024.3
Vol.
118

目次 — CONTENTS —

- 2 百里基地で米軍再編に係る訓練移転を実施
- 3 防衛施設周辺の環境整備事業
- 4 日米交流音楽会 in 昭島
- 5 日米文化交流（学校交流）
- 6 第15回北関東防衛施設地方審議会
- 7 わが町紹介（～茨城県阿見町～）
- 8 施設整備工事における遠隔臨場の活用
- 9 事務所だより（～新潟防衛事務所～）
- 10 北関東防衛局からのお知らせ・お願い

- ・レーザー光線の航空機への照射は犯罪です
- ・ドローンの規制についてのお知らせ
- ・横田飛行場周辺の高さ制限
- ・在日米軍従業員募集



佐渡金銀山 道遊の割戸（写真提供：佐渡市）



編集・企画発行：北関東防衛局総務部広報室 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>

管轄区域：東京都・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・長野県



百里基地で米軍再編に係る訓練移転を実施

令和6年1月29日（月）から2月8日（木）までの9日間（土日を除く）、航空自衛隊百里基地（茨城県小美玉市）において、米軍再編に係る訓練移転（日米共同訓練）が実施されました。

今回の訓練には、米空軍第35戦闘航空団（青森県三沢市）からF-16戦闘機、航空自衛隊第7航空団（百里基地）からF-2戦闘機が参加し、百里沖空域等において戦闘機戦闘訓練等を行いました。

米軍再編に係る訓練移転とは

平成18年5月の再編実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減することを目的として実施しています。

平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から、航空自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城、新田原飛行場及びグアム等へ航空機の訓練移転を実施しており、今回で135回目（国内70回、グアム等65回）、北関東防衛局管内の百里基地においては、令和4年11月に続き12回目の訓練移転になります。



北関東防衛局が訓練を支援

【百里基地内に北関東防衛局現地対策本部を設置】

北関東防衛局では、この訓練移転の実施に際して、百里基地内に現地対策本部を設置し、百里基地や茨城県警察等の関係機関との緊密な連携の下、関係自治体との連絡調整や訓練の実施に係る情報提供等を行いました。また、基地周辺11箇所の自動騒音測定装置による訓練移転中における航空機騒音の実態を把握するための騒音測定を行いました。

【自治体関係者による視察】

1月30日（火）には、百里基地及び米軍の協力の下、関係自治体の方々による訓練視察を実施しました。この視察においては、当局から「日米二国間の相互運用性の向上」と「米軍飛行場周辺地域における訓練活動の影響の軽減」という本訓練移転の目的や今回の訓練の概要説明の他、F-2及びF-16戦闘機の展示や、第35戦闘航空団の飛行隊長による部隊及び機体の説明が行われました。

このような取組みにより、訓練の円滑な実施等のための総合的な支援を実施するとともに、地元住民の方々の安全・安心の確保に努めました。



局職員と調整を行う飛行隊長



自治体による視察の様子

防衛施設周辺の環境整備事業

福生市立中央図書館・福生市郷土資料室リニューアルオープン記念式典の開催

令和6年1月20日（土）に福生市立中央図書館・福生市郷土資料室のリニューアルオープン記念式典が開催され、当局からは二又北関東防衛局長が出席し、関係者の皆様とともに施設の完成を祝いました。式典には加藤福生市長をはじめ関係者が出席され、地元の生徒、児童とともにテープカットや記念撮影が行われ、その後、完成した施設の内覧会が行われました。

リニューアルに際しては、自然景観豊かな文化の森の中に佇む趣ある外観はそのままに、心地よい雰囲気のある市民の憩いの場にしたいとの思いを込め、書架には多摩産材を活用し、また、利便性の向上を図るためエレベーターなどが設置されています。

本施設は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」の規定に基づき、改修工事は施設周辺整備助成補助金、備品等の購入は特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用されており、災害時は避難所としても活用されます。

当局としては、今後とも防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策の実施に取り組んで参ります。



外 観

**【福生市立中央図書館
・福生市郷土資料室の概要】**

構 造：鉄筋コンクリート造
地上2階

延床面積：約2,952㎡

総事業費：約9億8,200万円

補助金等額：約5億1,500万円
（※実施設計、備品購入等を含む。）



円型書架



二又北関東防衛局長



加藤福生市長



郷土資料室

写真は福生市に提供していただきました。

日米交流音楽会in昭島

令和6年2月10日（土）、FOSTERホール（昭島市民会館）において、北関東防衛局主催による「日米交流音楽会in昭島」が開催され、昭島市民や基地周辺の方々など約600名が来場されました。この音楽会は、米軍横田基地の軍人・軍属及びその家族と同基地周辺住民との交流を通じ、相互理解の促進及び良好な日米関係の醸成を図ることを目的として、平成21年から横田基地周辺の市や町で開催しています。

今年度は、日本側から瑞雲中学校、拝島中学校の2校の吹奏楽部、米側から米国空軍太平洋音楽隊が参加しました。事前に実施したリハーサル（合同練習）では、参加者同士の交流が活発に行われ、音楽隊から各中学校参加者に対し、技術的な手法などを熱心に指導する場面も見受けられました。参加者からは、「プロの演奏者からアドバイスをいただき、うれしかった」（日本側生徒）「日本の子どもたちと交流ができて楽しかった」（米音楽隊）と、笑顔で話していました。



二又北関東防衛局長



臼井昭島市長



ブレット・W・コ克蘭大佐



米国空軍太平洋音楽隊演奏



拝島中学校吹奏楽部演奏



瑞雲中学校吹奏楽部演奏



音楽隊と各中学校吹奏楽部による合同演奏（フィナーレ）

音楽会は、開演にあたり、主催者である二又北関東防衛局長が「日米の絆を皆様方の共通認識として感じて頂けることを期待します」と述べた後、共催者の臼井昭島市長、協賛者の在日米軍横田基地第374空輸航空団副司令官ブレット・W・コ克蘭大佐からそれぞれご挨拶をいただきました。

演奏のトップを飾ったのは、米国空軍太平洋音楽隊で、プロフェッショナルかつ迫力のある演奏を披露。日本側各中学校の演奏が続き、さらに日米合同で、「鷲の舞うところ」「シング・シング・シング」を演奏した後、日米の参加者が友好の証として、お互いにメッセージボードの交換を実施。最後は「ディープ・パープル・メドレー」を披露し、会場が一体となり盛大なフィナーレとなりました。来場者からは「日米が一体となって感動した」「来年も是非開催してほしい」などの声をいただきました。

日米文化交流（学校交流）

北関東防衛局では、平成26年度から、米軍横田基地内に所在する小学校の生徒と同基地周辺自治体に所在する小学校の生徒が、相互の文化等を一緒に体験する交流事業を実施しております。この交流は、日米の相互理解を深めるとともに将来に向けての更なる信頼関係の醸成を目的としており、8回目となる今回は横田基地内の小学生が日本側の小学校を訪問する形で交流が行われました。令和6年2月2日（金）に横田基地内にあるウエスト小学校の生徒が立川市立大山小学校を、2月15日（木）にメンデル小学校の生徒が羽村市立松林小学校を訪問しました。

日本側各校の生徒たちは、事前に準備した英語で、ウエスト、メンデル両小学校の生徒とコミュニケーションを図りながら教室でのアクティビティーに取り組んだり、体育館で一緒に身体を動かしたりして、交流のプログラムを楽しみました。

2月2日の交流の様子

みんなで楽しく玉入れ



仲良くランチを食べました



校庭でバスケットボール



2月15日の交流の様子

書道体験



ソーラン節を踊ってみる



笑顔でランチ



北関東防衛局では、本交流がきっかけとなり新たな日米間の交流が生まれるよう、さらに充実した交流の実現に向けた企画の立案及び調整を図っていきたいと考えております。

第15回 北関東防衛施設地方審議会

陸上自衛隊土浦駐屯地・武器学校で開催されました。

令和6年2月21日(水)、茨城県稲敷郡阿見町に所在する陸上自衛隊土浦駐屯地・武器学校において、第15回北関東防衛施設地方審議会が開催されました。

防衛施設地方審議会は、地方防衛局長の諮問に応じて自衛隊又は駐留軍の使用により不動産等に生じた損失の補償額等について調査審議し、必要と認める事項を地方防衛局長に建議するために地方防衛局に置かれる組織です。



前列左から小林委員、高岡委員、二又局長、田中会長、星指武器学校長兼土浦駐屯地司令、吉村委員、伊藤委員、橋本委員、後列左から恩田施設取得課長、山田施設補償課長、太田防衛補佐官、稲葉管理部長、園田業務課長、川上施設管理課長

審議会には、田中会長のほか5名の委員と当局から二又北関東防衛局長ほか幹事職員等が出席し、二又局長、田中会長の挨拶の後、陸上自衛隊武器学校総務課長北原2佐から土浦駐屯地・武器学校の概要について、説明が行われました。その後、自衛隊の活動に対する理解をより一層深めて頂くため、広報資料館や野外展示品等の見学が行われました。



土浦駐屯地・武器学校の概要について北原総務課長から説明を受ける委員の方々



展示品（写真は旧軍戦車）の見学

『地域力が高く誰もが幸せに暮らせるまち 阿見町』

阿見町は茨城県の南部に位置し、日本第2位の面積を誇る霞ヶ浦の南岸に面した自然豊かな町です。首都東京へは約60km、町内に2か所の圏央道ICがあり、阿見東ICに隣接する「あみプレミアム・アウトレット」には年間300万人を超える観光客が訪れています。霞ヶ浦湖岸には、町の貴重な歴史遺産である予科練、旧海軍航空隊を展示した阿見町予科練平和記念館があり、令和4年4月には来館者数60万人を達成しました。また、人口が増加している町の西部地域には、令和4年6月に元横綱稀勢の里関の相撲部屋「二所ノ関部屋」が開所するなど、自然と文化に彩られた県南都市としての発展を続けています。



予科練平和記念館にある実物大零戦



令和4年6月に開所した二所ノ関部屋

町公式
マスコットキャラクター
「あみっぺ」

市制を目指して

ランドセルの無料配布、18歳までの医療費無料化などの子育て支援施策の充実と、着実な都市基盤整備による職住近接のまちづくりにより、令和5年10月30日に初めて人口5万人を達成しました。令和7年の国勢調査で人口5万人を超えていると、単独で市となるための人口要件を満たし、最短で令和8年度内に市制施行が実現する可能性があります。

令和6年度からスタートする第7次総合計画では「5万人都市にふさわしいまちづくり」を重要テーマとし、持続可能なまちづくりを推進します。



役場庁舎の人口5万人達成懸垂幕

防衛施設周辺対策事業（吉原交流センター）

本町には、陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地、陸上自衛隊朝日分屯地、陸上自衛隊土浦駐屯地、防衛装備庁航空装備研究所土浦支所といった多くの防衛施設が立地しています。

平成30年3月に閉校した吉原小学校は、地域交流拠点としての存続を望む地域住民の声を実現するため、防衛施設周辺対策事業を活用し、令和3年4月に「吉原交流センター」として生まれ変わりました。センターには、地域の歴史を展示した吉原ミュージアムがあり、生涯学習や地域コミュニティの場として広く利用されています。また、災害時には避難所となり、高齢者等が和室を利用できるなど、地域の安全・安心の向上にも大きな役割を果たしています。



吉原交流センター

文・写真ともに阿見町に寄稿していただきました。

施設整備工事における遠隔臨場の活用

北関東防衛局の自衛隊施設整備工事において、遠方の現場では監督及び技術検査の確認等の業務効率化を図るため、情報通信技術を活用した遠隔臨場を行っています。

具体的な事例として、陸上自衛隊木更津駐屯地（千葉県木更津市）の格納庫施設整備工事の現場において、遠隔臨場を活用した工事監督業務と中間技術検査業務を行った事例を紹介します。

工事監督業務

工事監督業務では、工事監督官は北関東防衛局の執務室において、現場担当者がウェアラブルカメラで撮影した現場の映像をタブレット端末で見て、現場の仕上げの施工状況や仕様どおりの材料を使っているかなどの確認を行いました。これらの確認は各工事の段階ごとに実施が必要となりますが、遠隔臨場を活用し執務室内から工事監督が行うことで、業務時間の調整が容易となり、現場の進捗状況に合わせた監督業務を適切に行うことができ、現場担当者も次工程を行うまでの手待ち時間が削減されました。



現場状況確認（確認者：工事監督官）



工事書類確認（確認者：工事監督官）

中間技術検査業務

中間技術検査業務では、検査官は格納庫工事の現場の躯体工事完了時の検査を現場から離れた北関東防衛局内の執務室で行いました。検査官は、確認したい場所を現場担当者へ指示し、ウェアラブルカメラで撮影した現場の映像をモニター画面で見て、躯体の出来高と品質の確認をしました。各々の検査対象物（壁柱等）にカメラを近づけて撮影するため、少し時間はかかりましたが、躯体の状況を鮮明に確認できました。本現場は、通信環境が悪い場所もあり、画像が届くまで少し時間を要したところもありましたが、遠隔臨場においても中間技術検査を適切に行うことができました。



検査状況（確認者：北関東防衛局内）



ウェアラブルカメラによる撮影状況（受注者：木更津駐屯地）

以上のように、遠隔臨場を活用することで、移動時間の短縮や効率的な業務時間の配分が可能となり、局職員のみならず現場担当者ともに業務の効率化を図ることができました。

佐渡島の紹介

今回は新潟港からカーフェリーに乗れば2時間30分ほど、ジェットfoilに乗れば1時間ほどで、アクセス可能な佐渡島を紹介したいと思います。

1. 道遊の割戸

佐渡金銀山の中でも開発初期の採掘地とされる江戸時代の露天掘り跡です。巨大な金脈を掘り進むうちに山がV字に割れたような姿になっています。山頂部の割れ目は、幅約30m、深さ約74mにも達します。道遊脈と呼ばれる脈幅約10mの優良鉱脈を有しており、明治以降も割戸の下部で大規模な開発が行われました。



2. 佐渡西三川ゴールドパーク

佐渡最古と伝わる「西三川砂金山」跡地に建つ体験型資料館です。「砂金とり体験」は誰でも簡単にチャレンジできます。採った砂金は、ストラップやペンダントなどに有料で加工してもらえます。金の歴史が分かる展示室や、菓子類や貴金属などオリジナル商品を扱う売店が併設されています。



3. トキの森公園

トキに関する施設が点在しています。その施設の1つである「トキ資料展示館」には、保護増殖、野生復帰などの資料を多数展示しています。同じくその施設の1つである「トキふれあいプラザ」は、ケージ内で飼育されているトキを間近に観ることができる人気スポットです。日本産最後のトキ「キン」の顕彰碑が立つ園内散策もおすすめです。佐渡産枝豆で作る売店の「枝豆ソフト」も人気です。



4. 真野御陵

正式名称は「順徳天皇御火葬塚」です。順徳上皇は「承久の乱」で佐渡に配流され、在島22年の末、1242年、46歳で崩御されました。翌日火葬され、その跡に松と桜を植え、目印としたのがこの火葬塚です。御遺骨は翌年、帰京し、父帝・後鳥羽上皇墓所のかたわらに安置されました。火葬塚は御陵と同格扱いで宮内庁が管理しています。近くに順徳上皇を祀った真野宮があります。



5. 宿根木

中世から港があり、佐渡金山繁栄期の17世紀を経て、江戸後期から明治初期にかけては北前船稼業として発展しました。小さな入り江に面して、船板などを利用した板壁の民家100余棟が密集する町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。民家3棟が有料で公開されており、集落全体が船の仕事に従事した歴史を今に伝えています。



(写真及び資料提供：佐渡市、公益社団法人新潟県観光協会)

北関東防衛局からのお知らせ・お願い

レーザー光線の航空機への照射は 犯罪(注)です。

東京都内、神奈川県内、沖縄県内等で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いいたします。

(注) 平成28年12月、改正航空法施行規則が施行され、規制が強化(レーザー光線を航空機に向かって照射する行為自体に罰則(50万円以下の罰金))。

刑法の威力業務妨害罪(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)航空危険行為処罰法の航空危険罪(3年以上の有期懲役)等に該当する場合あり。

平成27年12月及び平成28年1月に威力業務妨害罪で逮捕例あり。

防衛省、外務省、警察庁、国土交通省

■内容についてのお問い合わせにつきましては下記に御連絡願います。

北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室 (東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県を管轄) 防衛省本省 地方協力局在日米軍協力課	(代表) 048-600-1800 (内線:2226) (直通) 03-5362-4851
--	---

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設/米軍施設その周辺地域**(周囲約300m)の上空におけるドローン等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置/罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年/罰金50万円

周囲おおむね300mの地域の上空(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設/米軍施設の敷地・区域の上空(レッド・ゾーン)



※このほか、**航空法上の無人航空機の飛行禁止空域**においてドローン等を飛行させる場合、夜間にドローン等を飛行させる場合等には、別途、**国土交通大臣の許可又は承認を得る必要があります。**

対象防衛関係施設及び飛行をさせたい場合の手続の詳細については、**防衛省HP**をご参照ください。
<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



防衛省・警察庁・外務省・国土交通省

お問い合わせ先 防衛省 北関東防衛局 企画部地方調整課連絡調整室
【代表】 048-600-1800 (内線: 2226)

横田飛行場高さ制限について

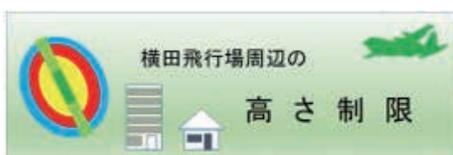
飛行場には航空機の安全な運航を確保するため、航空機の離着陸の経路に当たる一定の空域に飛行場の規模に応じて建物等の高さ制限が設けられています。

横田基地ホームページ(<https://www.yokota.af.mil/>)では、横田飛行場周辺の建物等の高さの制限を地図で確認できるサービスを提供しています。

利用方法

北関東防衛局ホームページ(<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>)

トップページ右側のバナーをクリックすると利用方法が参照できますのでご利用ください。



高さ制限HP



在日米軍従業員募集

独立行政法人駐留軍等労働者
労務管理機構【エルモ】では、
在日米軍基地で勤務する従業員
の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。
下記の支部にお問い合わせください。

※求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報(エルモ) @LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ横田支部管理課管理二係

住所: 東京都昭島市田中町568-1 昭島昭和第2ビル4階

電話: 042-542-7663

担当施設: 横田飛行場、ニューサンノー米軍センター、赤坂プレス・センター他

<https://www.lmo.go.jp>

L M O 検索

エルモ
ホームページ



求人情報
本州・九州の
基地



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

<https://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html>

北関東防衛局広報 検索

広報誌
バックナンバー

